

---

# 2011年度 事業計画書

---



# 立教学院

<目次>

はじめに .....	1
立教学院本部事業計画 .....	2
立教大学事業計画 .....	4
立教新座中学校・高等学校事業計画 .....	13
立教池袋中学校・高等学校事業計画 .....	15
立教小学校事業計画 .....	17
事業部事業計画 .....	19

はじめに

立教学院理事長 糸魚川 順

本年3月11日(金)に発生した「東日本大震災」により、被災された、多くの方々に対し、衷心よりお見舞いを申し上げます。また被災で亡くなられた方々、ご遺族の皆様に対し、哀悼の意を表すとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。学校法人立教学院は、被災し修学が困難になった学生の皆さんへの学費減免や奨学金等による支援はもとより、被災された方々への支援と被災地の復興のために、できる限りのことを実行していきたいと考えております。

学校法人立教学院は、本年創立137年を迎えます。これも小学校から大学までの各学校が、創立者ウィリアムズ主教の建学の精神を伝えつつ、それぞれの教育研究の充実に向けてたゆまぬ努力をしてきたのみならず、ステークホルダーの皆さまのご支援のたまものと考えており、心から感謝したいと思います。

2011年度の学院各学校の事業計画については後掲の通りですが、ここでは、理事会の役割について触れることにします。私学法改正に伴い、2007年に新理事会体制がスタートしました。この間、理事会では傘下の各学校が作成した将来計画を学院の中長期計画「立教学院総合発展計画」に一本化、実行に移し、今年は3年目を迎えることになりました。

計画の骨子について改めてご説明すれば、①教学のビジョンと目標の明確化②施設の整備計画③財政基盤の確立であります。とりわけ、立教学院及び各学校が一貫連携教育を強化しつつ、今後どのような教育研究機関として発展していくかを示す教学ビジョンと目標の明確化は計画の根本をなすものであり、計画推進にあたり、日頃から実施されている教学・研究にかかわる諸々の調査を基に議論を深め、改良に注力しております。また、各学校の教学改革を支える施設の整備計画も将来計画の重要な柱です。既に進められている池袋、新座の両キャンパス及び富士見総合グラウンドの再整備計画では、200億円を超える資金の投下が想定されており、これに小学校、池袋、新座の両中学校・高等学校の計画を加えると、将来計画実現のためには相当程度の資金の確保とそれを踏まえた財政基盤の確立が急務です。

理事会ではことあるごとに、立教学院全体の視点で経営全般を考えることを念頭に議論を進めてまいりました。「立教学院総合発展計画」はそれを実現するための計画ですが、内向きの議論にとどまることなく、学院各学校の教育研究活動を支えてくださっている広範なステークホルダーの皆さまのご意向ご期待に応えられるよう、また経営の効率化など叡智を集めて課題を解決していく所存です。

私たちは、先人達によって育み受け継がれて来た立教の建学の精神とそれに基づく教育研究活動が、混迷する現代社会にあって、ますますその存在意義を強めているとの確信と自負を持つものです。130年余にわたる伝統に甘んじることなく、常に時代を見据え、着実に改革の努力を積み重ねていくことをお約束するとともに、立教学院を支えてくださるすべての関係者の皆さまに、さらなるご支援とご協力をお願いする次第です。

## 立教学院本部事業計画

### I 2011 年度事業計画

#### 1. 一貫連携教育の推進

立教小学校、立教池袋中学校・高等学校、立教新座中学校・高等学校、立教大学での一貫連携教育を推進します。特に 2011 年度は大学教員が両高校での自由選択科目を担当するプログラムを具体化します。

#### 2. 総合企画会議の運営

総合企画会議は学院本部、各校の将来計画に関わる計画の立案、実施、成果の検証を含めたマネジメントおよび学院本部、各校の運営に関する有機的連携の推進が主な役割です。2011 年度は、小学校、池袋中学校・高等学校、新座中学校・高等学校の運営に関する支援活動と学院広報戦略立案を重点的に推進します。

#### 3. キャンパスメーキング計画基本方針の策定

2011 年度に総合企画会議のもとに「池袋キャンパスメーキング・ワーキンググループ」と「新座キャンパスメーキング・ワーキンググループ」を設置します。2011 年度は、学院全体の教学計画を実現するための、中長期的なキャンパス整備ビジョンについて基本構想の策定を行います。

#### 4. 危機管理体制の整備

大規模地震等の防災管理体制を整備します。2011 年度は備蓄品整備計画 3 年計画の 2 年目を実施します。また、様々な危機管理を想定し、アセスメント調査を実施します。

#### 5. 次期財務システムの開発

財務部は学院全体の予算・決算を統括し、財政の安定的運営に努めていますが、その基盤となるのが財務システムです。現行システムは稼働後長い年月を経ており、処理の効率性などで問題を抱える状況にあります。そこで 2012 年秋の稼働を目標とし、2011 年度から次期財務システムの開発に着手することにしました。次期システムでは新たに予算・決算の目的別管理を導入し、学院内外の諸情勢に即応する財政運営の実現を目指しています。

#### 6. MI(management improvement 経営改善)推進室の活動

2010 年 9 月に MI 推進室を常務理事会のもとに設置しました。MI 推進室は教学改革の進展に貢献できるよう、必要な財源の捻出および業務改善の実現を目的に活動を行います。

2011年度は学院本部各部の業務内容について精査し、業務課題別に改善計画の策定を行います。

#### 7. 職員人事・給与制度の再構築の推進

職員人事・給与制度の再構築の第1次改革として、2009年度から導入された職務遂行力評価制度は、2年間の運用実績を踏まえ本格的導入に向けての準備を進めます。職務遂行力評価制度を支える基幹制度として同時に導入された目標管理制度は、年々、その精度が高まってきており、引き続き、制度定着に向けての整備を進めていきます。また、資格等級制度および職位制度等の関連諸制度についても、並行して整備を進めていきます。

#### 8. 省エネルギー対策の推進

環境問題への対応としてCO<sub>2</sub>削減のため、設備・機器の更新等を実施します。

#### 9. パイプオルガンの更新

池袋および新座両キャンパスのチャペル内のパイプオルガン更新計画を進めます。

#### 10. 学院150年史編纂事業の推進

学院150年史編纂へ向けて、『Spirit of Missions 立教関係記事集成』の刊行継続(すでに2巻刊行、2010年度末に3巻目刊行)、『基督教週報』のデータベース化(後半部分の目録と記事画像を立教学院史資料センターのホームページ上で公開)、『ウィリアムズ主教書簡集』出版のための翻訳作業など、基幹資料の整備、刊行・公開に努めます。

また、「立教学院150年史編纂委員会」(2011年1月、第1回開催)を開催し、編纂作業の準備を進めていきます。

#### 11. 学院アーカイブス(仮称)構想

各校と連携し、学院アーカイブス(仮称)構想の検討を進めます。

#### 12. 創立135周年記念募金活動の推進

2008年11月から5年間の計画で行われている「創立135周年記念募金活動」を、目標額50億円に向けて継続・推進します。

以上

## 立教大学事業計画

立教大学は、2010年10月1日付で「大学運営の基本方針(2010～2014)」を策定しました。これは2010年4月～2014年3月の教学発展計画の骨子であり、2006年12月に公表された「総合発展計画」の後続となる方針です。その後、本学はこの方針に基づいて部長会における協議、「総長と語る会」及び全事務部局との意見交換会における議論を重ね、「立教大学の行動計画―自信と誇りの復権―」(2011年1月20日)を取りまとめています。

上記の「基本方針」及び「行動計画」に基づき、2011年度は以下の事業を実施します。

### I 教育

#### 1. 学士課程教育の確立

本学は、学士課程教育の質的向上を目指し、その在り方について継続的な議論を続けてきました。2009年度には、本学の「学士課程教育の目的」と各学部の「学位授与の方針」、「教育課程編成の方針」及び「入学者受入れの方針」を取りまとめ、2010年度には、初年次、社会連携、キャリア教育の視点を含めつつ、全学共通カリキュラム科目と学部専門科目を統一的・統合的に再編成するための方向性について検討を進めました。また、全学共通カリキュラムの総合教育科目においては、2012年度にその枠組みを変える新たな改革を予定しています。

2011年度は、上記の流れを受けて、「第2次学士課程統合カリキュラム検討委員会(仮称)」を発足させます。全学共通カリキュラム総合教育科目の2012年度改革をさらに進化させるとともに、全学の学士課程においてより統合的な教育実践が取り組まれることを目指し、2016年度以降の学士課程教育に関する基本計画案を策定します。

#### 2. 4年間を通じた言語継続学習環境の充実

2010年度は、全学共通カリキュラムの言語教育科目においても大幅な改革を行いました。全学共通カリキュラム英語必修科目では1年次の少人数化を徹底し、併せて2年次以降に向けては全ての言語科目において副専攻制度をスタートさせました。また、各学部の専門教育に関しては、英語による授業展開の継続的な支援を開始しました。

2011年度はこの改革を確実に進めつつ、さらに新しい段階に入るために、英語科目全体の検証を行うグループを設置します。また、2011年度末に異文化コミュニケーション学部が完成年度を迎えることを踏まえ、2011年度中に今後の本学の言語教育を推進していく体制の在り方について検討を開始します。

#### 3. 初年次教育と学習支援

学部専門教育については、学士課程統合カリキュラムの議論にあわせて、初年次教育の検討をすすめます。また、理学部で展開されている「学習支援室」や図書館によるラーニング・アドバイザー制度及び他大学の実態等を調査し、2012年度までに学生の個別ニーズに

合致した学習支援体制を提案します。

#### 4. 大学院教育について

2010 年度における自己点検・評価結果を受けて、2011 年度から既存大学院の定員見直し作業を開始し、変更がある場合は 2013 年度大学院入試に反映させます。2011 年度には、独立研究科(ビジネスデザイン研究科、21 世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科)の将来構想について議論する検討会議を設け、2011 年度内に組織再編を含めた改革の方向性を提示します。

2011 年 4 月に、経営学研究科に国際経営学専攻を設置します。本専攻は、高度な専門職業人、また当該分野でより高度な研究を続ける研究者として必要な、(1)国際経営分野の高度な専門性、(2)グローバルな視野と能力、(3)リーダーシップ力、を備えた人材を養成することを目的としています。また、2012 年 4 月設置を目指し、異文化コミュニケーション研究科に「言語科学」と「言語教育」の二つの領域から構成される言語科学専攻の文部科学省への届出を行います。

#### 5. FD (Faculty Development) と教育関係調査の積極的活用

立教大学では、各授業の改善のために「学生による授業評価アンケート」を毎年全学で実施しています。また、教育改革推進会議の下に設置している「教育調査の検討グループ」で、2011 年度は以下の調査を実施します。

- ①入学時アンケート      ②2 年次生アンケート(仮称)      ③卒業時アンケート
- ④英語プレイスメントテスト分析      ⑤成績追跡調査

各学部・研究科では上記の調査のほかに、独自で行ったレポートやアンケートなどを活用しながら恒常的な教育力の向上に努めています。これらの調査結果について検証し、大学としてのさらなる教育力向上を目指します。

2011 年度前半までに教育調査の仕組みの検討および学習支援の強化・FD の協議を行い、教育調査を推進する体制を整備します。その際、社会情報教育研究センターとの機能的連携も視野に入れます。

#### 6. 「立教大学日本語教育センター」の開設

本学に滞在する留学生及び外国人研究者への日本語能力向上支援の一環として、2011 年 4 月に「立教大学日本語教育センター」を開設します。

#### 7. 「立教大学しょうがい学生支援室」の設置

しょうがい学生支援体制をより安定的・恒常的なものとするため「立教大学しょうがい学生支援室」を 2011 年 4 月に設置します。また、全学的な体制である「身体しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク」を改編し、学部、研究科との連携をさらに強化します。2011 年度には「しょうがい学生支援方針」(仮称)を策定します。

## 8. 大学院生支援強化のための TA( Teaching Assistant) 制度の改革

2011 年度中に各学部・研究科における TA の運用実態について調査を行い、大学院生に教育経験を積む機会を増やし、研究生生活を支援するための新たな TA 制度を 2011 年度中に提案します。

## 9. Web を用いた教務システムの推進

2011 年度から、紙媒体で郵送している成績通知ならびに掲示による卒業生・修了者合格発表、講座課程修了合格者発表を、Web による方法に変更します。これにより、学生の利便性が向上することになります。

また、現在、紙媒体により提出されている成績評価の採点結果について、Web による方法へ変更することにより、成績確定までの時間を短縮します。2011 年度はそれに向けて準備を進め、2012 年度から全学での実施を予定しています。

# II 研究

## 1. 研究活性化の支援策

組織的研究の支援については、戦略的研究基盤形成事業申請等を核とする 5 年で 1 億円規模の計画的組織研究の支援策を 2011 年度から実施に移します。特に、戦略的研究基盤形成事業申請に意欲的な 3 学部を擁する新座キャンパスを、立教大学の研究拠点として積極的に位置づけます。また、総合研究センター傘下の研究所等に対して、上記外部資金申請につながる立教 SFR (Rikkyo University Special Fund for Research/立教大学学術推進特別重点資金) の研究助成メニューを創設します。

個人研究の環境整備については、2011 年度から、内外の学界をリードする研究の推進及び成果公開を重点的に促進すべく(特に若手教員に対する)出版助成枠を拡大します。

さらに、2011 年度前期までには、研究基盤となる学術資料構築高度化の観点から図書予算制度を見直し、その効率的運用の在り方について答申をまとめ、2012 年度予算から実施に移します。

\*立教 SFR (Rikkyo University Special Fund for Research/立教大学学術推進特別重点資金) とは、学術研究の推進を格段に図ることを目的として、学外との連携や大型外部資金の獲得を視野に入れた高度にして独創的な学術研究活動に対し、その必要な経費を資金引当特定資産から助成するものです。

## 2. 研究活性化の支援・実行体制

研究推進担当副総長を中心に、全学的支援体制の検討や組織的研究のシーズ発見につながる全学的な審議あるいは意見交換の場を設置します。また、上記に掲げた研究に対する支援体制を構築、整備します。さらに、学内の研究活動全般に関する政策的検討や評価などについては、外部有識者を含めた全学的な協議機構を設置します。



### Ⅲ 補助金プロジェクトの推進

#### 1. 文部科学省等補助金

文部科学省をはじめとする機関から財政支援を受けた研究および教育のプロジェクトを、2011年度も高度な成果をあげられるよう推進します。

##### 【がんプロフェッショナル養成プラン】(文部科学省)

理学研究科 (順天堂大学大学院、東京理科大学大学院、新潟大学大学院、明治薬科大学大学院との共同事業)	実践的・横断的がん生涯教育センターの創設
---	----------------------

##### 【大学教育の国際化加速プログラム(長期海外留学支援)】(文部科学省)

国際センター	立教大学長期海外留学
--------	------------

##### 【戦略的研究基盤形成支援事業】(文部科学省)

ESD 研究センター	「持続可能な開発のための教育(ESD)」における実践研究と教育企画の開発
未来分子研究センター	高度な機能を有する未来分子材料の創製
先端科学計測研究センター	ピコスケール計測技術の開発とその基礎科学への応用
ビジネスクリエーター創出センター	ビジネスクリエーターが創るインテリジェント・デザイン型企业・組織と人材育成手法の実践的研究
コミュニティ福祉研究所	「うつ病者の社会的支援」および「自殺予防」に関するソーシャルモデル研究・開発

##### 【異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業】(日本学術振興会)

コミュニティ福祉研究所	うつ病者の社会復帰支援における実証的融合研究
-------------	------------------------

##### 【「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム】(文部科学省)

キャリアセンター	きめ細かな就職支援の展開 ―相談体制の強化と実戦的講座の開講―
----------	---------------------------------

##### 【アジア人財資金構想高度専門留學生育成事業】(経済産業省)

観光学部	観光教育イニシアティブ
------	-------------

#### 2. 立教 GP (Rikkyo University Promotional Fund for Good Educational Practice)

2009年度に、本学独自の教育プログラム補助金制度である立教GPを設けました。2011年度に活動するプログラムは次頁の通りです。

この制度は、本学の教育理念・目的・目標に対応する学士課程および博士課程(前期・後期)における教育効果の高いプログラムを支援して、本学の教育の活性化と高度化に資することを目的とします。採択されたプログラムは、報告書の作成・報告会の開催などを通じて、そ

の成果について学内で共有を図ります。2011 年度活動報告会では、制度開始以来、助成期間が終了したプログラムが初めて取組の成果を報告します。

立教 GP において一定の成果がみられた取組については、その全学的普及を可能にする制度の在り方について 2011 年度から検討を開始し、順次実施します。

\* 立教GPは「立教大学教育活動推進助成 (Rikkyo University Promotional Fund for Good Educational Practice)」の略称です。

#### 2009 年度採択分

法学部	学生による国際ビジネス法に関する企業内調査と最新の実務を反映させた「生きた」教材の作成
経営学研究科	『国際的な知のアライアンス』による『ダブル・ディグリー・グローバル・ビジネスリーダー・プログラム(DGBP)』
経済学部	初年次教育における学習意識と基礎能力の育成プログラム

#### 2010 年度採択分

社会学研究科	大学院博士前期課程におけるプロジェクト型授業の導入
異文化コミュニケーション学部	豊かな大学での学びと社会で活躍する人材育成の起点としての初年次教育プログラムの構築
キャリア教育オフィス メディアセンター	入学から卒業までの学生生活「立教時間」をより充実させるためにウェブサイトを通じた ～成長・発達記録シートの活用とキャリア発達(意識化・行動化)プログラムの展開～

#### 2011 年度採択分

経営学部	ビジネス・リーダーシップ・プログラムの拡充とグローバル対応
------	-------------------------------

## IV 社会連携

本学は、多様な社会との連携を図りながら、本学の研究教育活動が内包または、創出する「大学の知」を社会に還元する活動を推進し、それらの社会貢献及び本学の教育研究活動を充実させる取り組みを「社会連携活動」と捉え、積極的に取り組んできました。現在、継続的に行われている自治体、地域コミュニティ、NPO 法人、団体等との連携活動は 150 事例を超えています。その上で、今後は、大学が一方的に、社会、地域に対して教育研究資源を投入する「大学による社会、地域貢献」だけではなく、それら連携を通して、大学の教育研究がいかに充実されるか、という発想を中心に社会連携を展開していきます。2010 年度は、人的交流や資源の相互活用など様々な連携協力を推進することを目的に新座市および埼玉県と連携協力に関する包括協定を締結しました。

また、2011 年度に「社会連携関連検討グループ」を設置し、戦略的な社会連携の体制及び方針を 2011 年前期中に策定します。

## V 学生生活支援

### 1. 正課外教育プログラムの発展

現在各部局で展開されている「奥中山キャンプ」、「日韓キャンプ」、「林業体験」、「農業体験」、「新入生キャンプ」などの正課外教育プログラムの一層の充実を図るとともに、関連部局間の連携を密にします。

また 2011 年度中に各組織で個別に展開されているピアサポートの実態把握に努め、同年度中に「立教大学ピアサポートマップ(仮称)」を作成します。

### 2. 体育会活動を支援する制度的枠組みの発展

「アスリート選抜入試」「体育会活動奨励金」「体育会指導者招聘制度」の導入や、富士見総合グラウンドの整備や「課外活動奨励奨学金制度」の充実など体育会活動は着実に活性化しつつありますが、更なる発展を目指します。

2011 年度からアスリート選抜入試の検証を開始し、アスリート選抜入試制度を必要に応じて見直します。

### 3. クラブ・サークル活動(体育会を除く)への指導・支援の仕組みの構築

2010 年度に新たに「登録団体リーダープログラム」、「公認クラブ・サークル部長連絡会」及びクラブ・サークル活動を対象とする「課外活動奨励奨学金制度」をスタートさせました。2011 年度はこれらを継続させるとともに、そこで出される課題を受けてさらなる指導・支援の仕組みの構築について検討を進めていきます。

### 4. 上記以外の学生生活支援

昨年度に引き続き奨学金の充実に向けた財政措置を講じます。また、学生相談所については、現在学生部及び学生相談所において相談体制の充実に向けた検討を進め、その検討を踏まえて必要な措置を講じていきます。

学生向けのアメニティ向上については重点課題として認識し、2011 年度から審議を開始する池袋キャンパスメーキング計画及び新座キャンパスメーキング計画の主要項目として取り上げます。

発達しょうがい学生支援については、2011 年度に学生相談所、しょうがい学生支援室及び身体しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワークによる議論を開始します。

## VI 施設

『大学運営の基本方針』、『立教大学の行動計画』ならびに立教学院による「立教未来計画」が推進する教育研究環境の整備として、2011 年度は池袋キャンパス、新座キャンパス、富士見総合グラウンドの 3 校地において以下の事業を行います。また、中長期的な整備ビジョンとなる「キャンパスメーキング計画」の策定を行います。

## 1. 池袋キャンパス

### (1) マキムホール(15号館) (延床面積約 10,000 m<sup>2</sup>、地下1階・地上12階)

2011年4月よりマキムホール(15号館)の利用を開始します。マキムホール(15号館)は、低層部が中規模教室5室、高層部は経営学部・異文化コミュニケーション学部・独立研究科の関連施設で構成されています。また国際センターと日本語教育センター(2011年4月開設)を配置することで、国際交流拠点として位置付けていきます。

### (2) ロイドホール(18号館) (延床面積 約 20,000 m<sup>2</sup>、地下2階・地上7階)

閲覧席数 1,500 席、収蔵能力 200 万冊を有する中央図書館と、学部関連施設を配置するロイドホール(18号館)の建設工事を引き続き進めます。2012年9月からの利用開始を予定しています。

### (3) 本館耐震補強工事

本館(モリス館)の耐震補強工事を実施します。東京都選定歴史的建造物である本館は、1918年に竣工し、国内でも有数のレンガ造建築物です。2011年度に詳細な検討・設計を行い、外観意匠を保存しながら、耐震補強工事を行います。

### (4) 学院総合体育館(延床面積 約 14,000 m<sup>2</sup>、地下2階・地上5階)

大学と立教池袋中学校・高等学校とが共同利用する学院総合体育館の建設工事を実施します。2011年4月に着工し、2012年度後期中の利用開始を予定しています。

### (5) チャペル会館

立教学院と連携し、老朽化が進んだチャペル会館の建替計画を進めます。2011年度は基本設計・実施設計を実施し、2012年度に工事に着手する予定です。

## 2. 新座キャンパス

### (1) 8号館・4号館増築部(延床面積 8,500 m<sup>2</sup>、地下1階・地上5階)

2011年4月より、8号館および4号館増築部の利用を開始します。講義室・演習室、PC教室、学生ラウンジ、メディアセンター、講師控室等を配置します。

### (2) 既存施設の再整備

8号館・4号館増築部の利用開始に伴い、学生支援体制の強化や図書館の増床、研究支援スペースおよび学習支援スペースの整備などを目的に、既存施設の再整備を行います。

## 3. 富士見総合グラウンド

3期にわたって進めてきた富士見総合グラウンド整備計画は、2011年4月に新クラブハウスの利用を開始し、3期分となる馬術部施設整備とグラウンド外構整備を2011年度に実施し

ます。

## VII その他

### 1. 広報機能の強化

学外広報、学内広報の双方にわたって、制度広報、リスク対応広報、価値創造広報それぞれの本来あるべき姿を整理し、現状で不足している部分を補うべく機能・組織の強化・拡充を図ります。

### 2. キャリア支援

2011年度は、2009年度に実施されたキャリア支援組織に関わる改編の効果を検証します。あわせて、キャリア支援活動の対社会向け広報(企業、受験生とその保護者及び在学生とその保証人を含む)を拡充させます。2011年度も引き続き全学のキャリア支援活動の充実を進め、特に女子学生のキャリア支援策については、社会におけるリーダーシップ能力を涵養する「女子学生キャリア支援プロジェクト」の実行を目指します。

### 3. 危機管理体制

大学では、リスク対応広報を含む危機管理体制の確立を目指します。とくに、海外留学・研修時における学生の危機管理体制のあり方については、2011年度中に結論を得て2012年度後期から実施します。

### 4. 情報基盤の整備

2010年度までに池袋キャンパスのほぼ全域に無線LANを整備したことに続き、2011年度は新座キャンパスの無線LANを整備します。また、学生貸出用ノートPCやラーニングスペース端末の台数を拡充し、学生の学習環境をさらに充実させます。また、2012年度に更新時期を迎える教育研究情報基盤の次期システム(V-Campus5th)の設計と構築を行います。

### 5. キャンパスの国際言語化

キャンパスの国際言語化に向け、海外向け大学案内や外国語HPの抜本的刷新、学則及び各学部・研究科の履修要項のうち骨格部分の英語化を進めるワーキンググループを2011年度に設置し、作業を開始します。

### 6. 内部質保証のための取組

2011年度に、大学基準協会による認証評価を実施します。

### 7. 立教大学観光ADRセンターの設置

2011年4月に、観光に関わる裁判外の紛争解決に向けた手続(Alternative Dispute

Resolution)等を行うことを目的とする「立教大学観光ADRセンター」を設置します。

以上

## 立教新座中学校・高等学校事業計画

### I 教育理念・教育目標

立教新座中学校・高等学校では、建学の精神である「キリスト教に基づく人間教育」を教育の柱に置き、「神を畏れ敬い、学問を尊び、隣人を愛する」ことを理念として、「マナーと品位を備えた生徒の育成」に努めています。

また、教育目標としては、立教学院各校共通の教育テーマである「テーマをもって真理を探究する力」と「共に生きる力」を育てることを掲げ、教える者も教えられる者も共に相手を尊重し合い、日々の教育活動を行っています。

### II 2011年度の事業計画

#### 1. 教育プログラムの整備・充実

本校は上記の教育目標を達成するために、中高 6 年間を通して一貫性のある教科教育・教科外教育活動を実施します。

中学校では 2012 年度より、高校では 2013 年度より新学習指導要領が実施されます。この新指導要領を見据えた上で、本校の独自性を発揮できるカリキュラム内容の検討と準備に取り組んでいきます。すなわち、中高一貫のキリスト教教育を柱とした「共に生きる力」を基盤としながら、教科・教科外における知識の修得を通じた思考力、判断力、表現力などの養成と、人権教育、情操教育、キャリア教育などの充実によって、豊かな心と健やかな身体の育成を目指します。

また、本校の教科教育は、きめ細かく指導の行き届いた授業を実現するため、多くの授業が必修科目、選択科目を問わず、到達度別・志向別・クラス分割等による少人数クラスを実現してきています。

生徒は 6 年間の各自が選ぶ選択科目の授業を通して、学習の「テーマ」、人生の「テーマ」を探究し、卒業研究論文の作成、大学の進路決定に役立てています。

また、理科教育におけるスーパーサイエンスハイスクール指定校への努力も重ね、さらに本校の立地を活かした、環境教育にも努力していきます。

以下列挙した項目は、現在継続しているもの、検討中のものを含め、本校の課題として取り組んでいきます。

- (1) 新学習指導要領を考慮に入れた高校のカリキュラムのあり方を検討します。
- (2) 学校として、各教科の基本プランの充実を促し、生徒の学力の向上に努めます。
- (3) 本校を志望する志望順位の高い者、学業と運動・文化活動等で優秀な生徒の確保を目的として 2011 年度入試より高校新推薦入試制度を導入致しました。本制度が定着しさらなる効果を上げるべく努力をしていきます。
- (4) 教職員研修の奨励と自己点検を引き続き実施し、教育力の向上を目指します。
- (5) 本校の教育効果をさらに上げるために、2011 年度から高校 1 年を 7 クラスから 8 クラスとし、1 クラス増とします。

(6) 従来の学則が、今の時代環境に応じきれなくなっている面をふまえ、2011 年度から根本的に改訂しました。その学則に準拠した形で、教育面の課題も遂行していきます。

## 2. 教育研究環境の整備

### (1) 本館の建て替え

現在高校が使用している本館は1960年に建設され、随所に老朽化が見られ、早期の建て替えが必要です。立教学院総合発展計画に沿い、学内の建設委員会で、多様な教室、すなわち、授業の用途に応じたもの、少人数クラスに対応できるものを策定に盛り込んだ基本構想をまとめ、2014年度の竣工を目途とした計画実現に向け、具体的作業を進めます。資金面では、上記計画に向けた留保額が当初の予定通り確保されています。

### (2) 新体育館(セントポールズジム)、多目的コート等の活用

完成した新体育館(セントポールズジム)、多目的コートおよび多目的グラウンドを利用して、より活発な体育活動を展開し、東寮跡地の自然緑地を活かした理科教育の充実等に尽くしていきます。

### (3) 総合体育館および部活動関連施設

総合体育館、プール、グラウンドおよび学友会館等の部活動関連施設について引き続き必要な整備を進めます。

## 3. その他

### (1) 施設・設備等の充実

1)チャペル礼拝堂の空調設備等の更新、改修を行います。

2)図書館の外壁塗装および改修を行います。

以上



## 立教池袋中学校・高等学校事業計画

### I 教育理念・教育目標

立教池袋中学校・高等学校では、キリスト教に基づく人格の形成を目的とする人間教育を理念とし、神を愛し、神の前に謙虚で感謝を持って生きられる人間の育成を目指しています。

立教学院一貫連携教育構想で定めた立教学院各学校共通の教育目標である「テーマを持って真理を探究する力」を育てること、つまり神から与えられた力を自ら発見し、これを伸ばしてより広い視野のもとに判断する力を養い、強い意志をもって探究する人間の育成を目指します。また「共に生きる力」を育てること、つまり神に愛されている人間として、互いに理解し合い、自己本位でなく、共に助け合って、広く国際社会にも目を向け、共同生活を豊かにすることができる人間の育成を目指します。そして、これらに加え「豊かでの確な日本語」と「生きた英語」の習得を目指した教育を推し進めます。

さらに、進んで心身を鍛え、豊かな感受性をもって、すべてのいのちと環境を大切にすることができる人間の育成を目指します。

### II 2011年度の事業計画

#### 1. 教育プログラムの整備・充実

##### (1) 校内各組織の点検・整備

積極的な広報、および情報収集活動を展開するため広報室を創設します。

##### (2) 教学プロジェクト

2009年度からスタートした教学プロジェクトチームは、完全週6日制の実施(2012年度)、少人数教育のための全学年4クラス制の実施(2013年度)、そして英語教育の特化(2012年度)という目標に向けて、今年度は次の作業を行います。

1) 新教育課程を作成します。

2) 教育環境・整備の一環として(仮称)新教室棟と既存校舎の運用を策定します。

##### (3) 国際理解プログラム

現在実施されている中学・高校の国際理解プログラムを再点検します。また、生徒が留学しやすい環境作りのため高校海外留学規定を見直します。

##### (4) 立教英国学院との教育連携の推進

立教英国学院との教育連携の覚え書きを取り交わし円滑な交流の実現を目指します。

##### (5) 学習力強化

教科活動における学習習慣作りを、特に中学1年・2年で集中して推し進めます。

##### (6) 継続課題

1) 卒業研究論文の評価方法の点検・整備

2) 本校の評価法である「認定制」の見直し

3) 教師の授業力向上を目指し、学内での各教科の研究・公開授業の実施

##### (7) いのちの教育

いのちへの感謝・いのちの大切さ・自分の使命などについて考えることを通して「生きる

この意味を考える」教育の実践を模索します。

(8) キャリアデザイン教育

6年間を通じたキャリア教育を点検・整備します。さらに、高校におけるキャリア教育を大学高大連携セクションと共同で企画し充実させます。

(9) 教育相談の充実

生徒一人ひとりのところに寄り添う教育を目指し、保護者と共にある信頼関係の上に成り立つ教育相談体制の充実を図ります。

## 2. 教育研究環境の整備

(1) 教育系(情報教室・視聴覚教室・図書館)システムの更新を実施します。

(2) 新カリキュラム、少人数教育対応他のために教務学籍システムの改造を始めます。

(3) (仮称)池袋総合体育館建設工事を始めます。(2012年度後期利用開始予定)

(4) 新教室棟建設(2012年度着工)を踏まえて既存校舎の改修工事を順次始めます。

(5) 4階普通教室(6室)の床長尺シート貼替工事を実施します。

(6) 総合教室 4A・4Dの床長尺シート貼替他の改修工事を実施します。

(7) 校舎中央階段床の長尺シート貼替工事を実施します。

## 3. その他

(1) (仮称)池袋総合体育館および新教室棟建設工事が始まりますので、引き続き建設資金積み増しの強化、本校の教学改革に必要な資金も留保していきます。また、募金活動を積極的に推進していきます。

(2) 環境対策、省エネルギー対策を踏まえ、経費削減策を継続的に実施します。

(3) 既存校舎空調機器更新時期(耐用年数に伴う)について検討を推し進めます。

以上

## 立教小学校事業計画

### I 教育理念、教育目標

本校では、「キリスト教信仰にもとづく愛の教育」の実践を通して、「神さまによるこぼれる子ども」の育成を目指しています。

神さまによるこぼれる教育の4目標

- 1 友だちのよいところがわかる子ども
- 2 自分のよいところを表現できる子ども
- 3 広い視野でものを見られる子ども
- 4 すべてに感謝できる子ども

さらに、学習習慣と生活習慣の定着化に努め、「子どもの自覚・自立」が図れるよう支援し、一貫連携教育のねらいである、「テーマをもって真理を探究する力」、「共に生きる力」を育めるよう、日々心がけています。

### II 2011年度の事業計画

#### 1. 教育プログラムの整備・充実

全体目標「ひとりひとりの子どもが生きる教育を考える」

- (1) 本校の伝統に培われた特徴ある教育を維持しながら、新学習指導要領にも対応できる教育を本年度は実践します。
- (2) 基礎学習力向上と学習習慣の定着化を継続して実施します。
  - ・家庭での勉強の仕方や毎日の日記指導を行います。
  - ・朝時間帯にモジュール学習(10分間読書)の充実を図ります。
  - ・一人ひとりの学習力向上のため、個別指導を充実させます。
- (3) 教育改革推進委員会や教務委員会を中心に、教育内容の充実、子どもの教育力の活用、さらには将来計画・追跡調査など継続性のある教育改革も進めていきます。
- (4) 教員の教育力向上の研修に積極的に参加し、教育力アップに努めます。
  - ・教科部会(国語・算数・社会)での研究を引き続き継続します。
  - ・新任教員による公開授業および振り返りの実施を継続して行います。
  - ・日常の授業参観を行い、学院調査役・小学校教職員に批評・アドバイスをいただき、担当した教員が指導を受けられるよう計画します。
  - ・小大共同研究会(1995年から実施の立教大学教育学科と立教小学校教員の相互研究)を、本年度も継続して実施します。
  - ・外部教育機関への研修を積極的に奨励し参加を促します。
- (5) ラーニングサポートシステム(学生による授業補助体制)の実施
  - ・プールでの水泳指導・安全管理補助、そして教室での授業の子どもへのサポートを継続して実施します。
- (6) ゲストスピーカーによる授業や講演を実施します。
- (7) 年間行事(キャンプ、グローバルエクスカッション、関西方面をはじめとするフィールド

ワーク、発表会、聖劇等)をさらに質の高いものにするために、各担当者による見直し、改善を実施します。

(8) 施設・環境の整備

緊急を要する修繕や老朽化に対応した整備を最小限、段階的に行います。

2. 教育研究環境の整備

1 年生の中庭の整備・生活科畑の充実、立教大学ゼミとの共同でビオトープの設置を検討していきます。

3. その他

FD教育の充実、教科ごとの教育システム研究、教員間の授業参観(公開研究授業)の継続・実施、日私小連・東初協・聖公会関係学校・キリスト教学校教育同盟・小大共同研究会などによる外部研修および立教大学の科目等履修生としての聴講、さらに異文化理解を深めるための海外研修制度(2ヵ月)などをおして教員のスキルアップを目指します。

以上

## 立教学院事業部事業計画

### I 基本方針

立教学院の児童、生徒、学生、教員、職員の福利厚生を第一優先とし、要望に応え事業を展開していきます。また、事業を進めるにあたっては、関係部局・部署と緊密に連絡をとりながら一致協力して業務に取り組み、立教学院の運営および財政に貢献するように努めてまいります。

### II 目標

主力4事業への取組みを強化し、売上予算ならびに当期利益予算達成を目標とします。主力4事業とは、学校内諸施設の有料貸与、立教キャリアアップセミナー運営、セントポールプラザ(売店)運営、自動販売機管理運営です。

### III 2011年度の事業計画

#### 1. 学校内諸施設の有料貸与

学校内諸施設の有料貸与を積極的且つ効率的にすすめてまいります。

##### (1) 教室貸出

昨年度利用実績のある外部団体等へ DM やファクスでの早期アプローチを図ります。また、新規の外部団体へ利用を働きかけてまいります。

##### (2) 撮影場所の提供

スチール撮影を中心に雑誌やカタログ広告などの利用促進を図ります。

#### 2. 立教キャリアアップセミナー運営

2011年度は、30講座を選定いたしました。

##### (1) 継続講座

講座数は24講座2模擬試験です。選定には以下の3点を基準としました。

- ①講座終了後の受講生アンケート結果の評価がよかったこと。
- ②受講生が受験した試験の合格率が全国平均より高かったこと。
- ③個別の講座の収支状況が良好なこと。

##### (2) 新規講座

受講生のアンケート結果から要望が高かった講座や、キャリアセンターと連携して就職活動支援に直結する6講座を企画いたしました。

#### 3. セントポールプラザ(売店)運営

学年暦に沿った事業の強化や新規事業に取り組んでまいります。セントポールプラザの大会議室をイベントや販売会へ有効に貸し出し、収入増を図ります。立教グッズは昨年秋よりネット販売に取り組んでおり、今後取扱アイテムを更に拡充してまいります。各店舗は、従来から実施している文具・書籍・食品の割引販売を継続して行います。また、要望に沿った品揃えを図るとともに将来的に割引率や割引対象商品の拡大も検討していきます。

(1) 池袋キャンパス店

文具は 25%、書籍は 10%の割引にて販売します。

(2) 新座キャンパス店

文具は 25%、食品の一部(FamilyMart)は 5%、書籍は 10%の割引にて販売します。

4. 自動販売機管理・運営

池袋キャンパスと新座キャンパスの全ての自動販売機 84 台を事業部が一括管理しています。要望に沿った品揃えを図り、管理・運営の効率化により手数料収入の増加を目指します。

5. その他の事業および業務

(1) 立教カード事業

(2) 駐車場貸出し

(3) 公衆電話管理

(4) カレンダー製作

以上